

ChatGPT 等生成系 AI への対応について

学生の皆さんへ

令和5年4月25日
理事(教学担当)

ChatGPT などの生成系 AI の利用に関しては、大学における学生自身の学びの促進や適切な成績評価の観点において問題が生じることが大いに懸念されており、また個人情報の流出などのリスクも指摘されています。

本学においては、レポートや学位論文等の作成に生成系 AI から得た内容を流用することは不可とします。違反があった場合は、成績評価点をゼロにするなどの厳格な対応を授業担当教員の判断で行うこととします。

さらに、下記について十分な注意を払うとともに、授業等でのその利用については授業担当教員の指示に従ってください。

- (1) 生成系 AI 等から得た内容をレポート等解答にそのまま利用することは自身の勉強にならず、場合によっては剽窃とみなされる場合があります。
- (2) 調べ学習等で使用する場合に誤りが含まれていることも少なくなく、自己責任のもとで正確な情報の確認が必要となる。
- (3) 学習データに著作権のある文章が含まれている場合には、著作権を侵害する可能性がある。
- (4) 未発表の論文や秘密にすべき情報(個人情報やプライバシー情報等)を生成系 AI に入力してしまうと、それらの情報が意図せずに流出・漏えいしてしまう可能性がある。サイバーセキュリティの観点からも大いに注意が必要である。

今後も継続的に国内外の高等教育機関や文部科学省からの情報収集および学内での意見聴取等を行い、教育・学習への活用も含めて適宜検討していきます。